

技能指導官が講師 合同災害救助訓練

県警

県警は27日、埼玉県警と合同で、警察庁が指定する「広域技能指導官」の指導による災害救助訓練を八街市内で行った。

県警第3機動隊と埼玉県警の機動隊員計約60人のほか、県警警備課や一線署の担当者らも参加。建設廃材のリサイクルなどを行っている「大同産業」(八街市)の協力で同社の工場を会場とし、廃材などを利用して実施した。

講師を務めたのは、警視庁に所属する災害救助分野の広域技能指導官。参加者は倒壊した電柱をハンマーで破碎したり、コンクリー



訓練でコンクリートの撤去作業にあたる参加者たち(八街市で)

トを撤去したりしたほか、地震でビルが崩壊したと想定した救助訓練にも臨んだ。